

サミットのことを分かんると最高の人生である。使徒 17 章は 3 つの地域での伝道について書いている。テサロニケ、ペレア、アテネでの伝道について記している。今日の聖書の本文はテサロニケの伝道について書かれている。

1.サミットの伝道チーム	2.サミットの伝道戦略	3.サミットの伝道の実
1)使徒 17:1(彼らはアムピポリスとアポロニヤを通して、テサロニケへ行った。そこには、ユダヤ人の会堂があった。) (1)テサロニケはマケドニヤの首都である。 (2)「彼らは」(パウロ・テモテ・シラス・ルカ)ーチームを組んでテサロニケの伝道をした。 (3)チームの一人一人はキリストに完全に結論を下していたーキリストに全てがあることを分かる人がサミットである。 (4)キリストを知っている人はサタンから解放をされ、罪を赦され、地獄から解放をされた。 (5)キリストを分かるほど勉強も産業も祝福をされる。 2)創 26:24(主はその夜、彼に現れて仰せられた。「わたしはあなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいる。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加えよう。わたしのしもべアブラハムのゆえに。」) (1)アブラハムの子どもはイサクである。 (2)イサクは様々な困難の中で不安を抱えていた。ー主はアブラハムの子供で主が共にいるから恐れるなと言われた。 3)ガラテヤ 3:29(もしあなたがたがキリストのものであれば、それによってアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。) (1)キリストであることを信じている人はアブラハムの子供。 (2)キリストを信じてる人はイサクのように祝福をされる。 (3)キリストを信じる人は悪魔が逃げ出し、呪いが消え去り、地獄の地獄の背景が消えて、伝道、宣教の祝福を受ける。 4)創 24:63(イサクは夕暮れ近く、野に散歩に出かけた。彼がふと目を上げ、見ると、らくだが近づいて来た) (1)イサクは祈りを通して味わった(黙想をした)。 (2)礼拝に参加をすることが祈りであるー証がついてくる。 (3)御言葉・講壇のメッセージに集中をする。 5)使徒 18:9-10(ある夜、主は幻によってパウロに、「恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから」と言われた) (1)私が大変になったら私を通して救われることが出来ない。 (2)地域ごとに救われる人がたくさん準備されている。 (3)主は伝道のために私たちを守って下さる。	▲チームの伝道には素晴らしい戦略。 1)使徒 17:2(パウロはいつもしているように、会堂に入って行って、三つの安息日にわたり、聖書に基づいて彼らと論じた。) (1)パウロはいつもしているように 3 週間の間会堂に入った ①会堂とは区域地教会・タラッパン・専門教会である。 ②会堂には聖書を読んで神様の救いを求めている人がいた。 (2)神様は救いを求める人を探してる。 (3)どこに行けば福音を信じる人がいるのかを良く知っているのがパウロチームであった。 (4)教会に通っても問題を持っている人が沢山いるーその飢え渴いた人に福音を伝えた。 2)使徒 17:3(そして、キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならぬことを説明し、また論証して、「私があなたがたに伝えているこのイエスこそ、キリストなのです」と言った。) (1)パウロは求める人に聖書を教えた。 (2)旧約聖書の 3 つの祭り ①過ぎ越しの祭りーキリスト(過去、現在、未来の問題を全て解決され祝福に変えた) ②五旬節の祭りー聖霊の満たし ③収穫の祭りー世界福音化・神の国 3)使徒 5:42(そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた) (1)いつの時もイエス・キリストが必要であると語った。 (2)問題はキリストによって全て祝福である。	▲イエスキリストを味わって伝道をするサミットの実が結ばれる。 1)使徒 17:4(彼らのうちの幾人かはよくわかって、パウロとシラスに従った。またほかに、神を敬うギリシヤ人が大ぜいおり、貴婦人たちも少なくなかった。) (1)彼らの内の何人かはパウロとシラスに従う。 (2)レベルが高い人たちも多く信じるようになった。 2)使徒 17:5-9(またヤソンの家を襲い、ふたりを人々の前に引き出そうとして搜した。しかし、見つからないので、ヤソンと兄弟たちの幾人かを、町の役人たちのところへひっぱり行き、大声でこう言った。「世界中を騒がせて来た者たちが、ここにも入り込んでいます。それをヤソンが家に迎え入れたのです。彼らはみな、イエスという別の王がいると言って、カイザルの詔勅にそむく行いをしているのです。」こうして、それを聞いた群衆と町の役人たちとを不安に陥れた。彼らは、ヤソンとそのほかの者たちから保証金を取ったうえで釈放した。) (1)その当時ユダヤ人はキリスト教が一番嫌いであった。 (2)ユダヤ人はうそをついて、騒動を起こすようにした。 (3)パウロたちを捕えようとしてヤソンの家に行った。 (4)パウロが見つからないのでヤソンを役人の元に引っ張ってきた。 (5)ヤソンは保証金を出して解放をされテサロニケの教会を建てた。 3)ローマ 16:21(私の同労者テモテが、あなたがたによろしくと言っています。また私の同国人ルキオとヤソンとソシパテロがよろしくと言っています。) (1)ヤソンとはどのような人物であるのかーヤソンはパウロの親戚。 (2)ヤソンはパウロの親戚であるからパウロを十分に助けた。 (3)自分の家族、親戚が救われると伝道の為に献身をしてくれる。 (4)家族・親戚が救われるように祈り伝道をするように。 4)I テサロニケ 1:7-8(こうして、あなたがたは、マケドニヤとアカヤとのすべての信者の模範になったのです。主のことばが、あなたがたのところから出てマケドニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているので、私たちは何も言わなくてよいほどです) (1)テサロニケ教会の信仰はモデル的な信仰であった。 (2)私たちの家族・親戚を通して建てられた教会がモデル的な教会となり伝道・宣教をするようにーサミット伝道である ▲結論ー(1)毎月最後の週は全聖徒伝道キャンプをする。 (2)チームを作って家族・親戚・同労者・友人のポイントのところに行って伝道するー伝道の中に全ての祝福がある。

区域地教会(2018 年 2 月 25 日～3 月 3 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「サミットの伝道」(使徒 17:1-8)

【讚美】 384 神はわがやぐら

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・「決断」「正しい癒し」「サミットの祝福」(本部元旦メッセージ)の成就のために。
- ・「日本と世界を生かす教会」(使徒 11:19-30)(福音宣教教会元旦メッセージ)の成就のために。
- ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
- ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

講壇メッセージを通した御言葉・祈り・伝道

御言葉黙想			
祈り			
伝道			
今週の ミッション	・ 御言葉の黙想・暗唱・書き起こし ・ 霊的な呼吸の祈り		
呼吸の祈り			
	息を吐き出す時	息を吸い込む時	
福音	私の悩みと心配を主に委ねます	イエス・キリストは全ての問題の解決者です	
信仰	私の不信仰を取り去って下さい	私に御言葉を信じる信仰を下さい	
御言葉	私の罪を許して下さい	私に御言葉に従う信仰を与えてください	
霊	私を邪魔するサタンの力は イエス・キリストの名で打ち砕かれよ	私に聖霊充滿を与えて下さい	
感謝	私の過去の傷を全て捨てます	全ての事を感謝させて下さい	
福音宣教教会			
主管牧師：御国イザヤ			
名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003			
主日(日曜)1部礼拝 7:00 ／ 2部礼拝 10:00 ／ 3部礼拝 12:00			